

空冷チラー 空冷ヒートポンプチラー CA/CAH-P1180F~P5300F形 CA/CAH-P1180F I ~P4750F I 形 用

リモコンRP-16CB 複数台制御システム取扱説明書



EYNT-14956E

# CA/CAH-F・FI形 リモコンRP-16CB 複数台制御システム取扱説明書

## <u>目次</u>

		~	ページ
1.	接続形態と配線施工上の注意		1
2.	リモコン設置上のお願い 電源OFF時のシステム 立上げ前の確認内容		2
3.	運転操作部		3
	3.1 基板操作部		3
	3.2 基板上のディップスイッチ設定確認	•••	5
	J		
4.	複数台制御システム立上げ手順	•••	6
	4.1 リモコンへの電源供給(給電コネクタの設定)	•••	6
	4.2 親機の場合	•••	7
	4.3 子機の場合	•••	8
	4.4 /トレスの設定 4.5 地合入力テ(ルエコン・同時制御)の設定		9 10
	4.5 指节八刀儿(9~~~,问时前仰)90成足		10
5.	リモコン操作		11
	5.1 リモコンの概要	•••	11
	5.2 リモコンによる運転操作手順	•••	13
	5.3 リモコンからの冷暖切替方法	•••	14
	5.4 目標温度設定	•••	15
	5.5 運転/停止	•••	16
6.	異常および異常リセット		17
	6.1 親機のユニット異常時の動作	•••	17
	6.2 子機のユニット異常時の動作	•••	18
	6.3 M-NET通信異常時の動作	•••	19
	6.4 異常リセット操作手順	•••	21
	6.5 異常コード一覧	•••	25

# 1. 接続形態と配線施工上の注意

基板に電源を投入する前に、下記内容を必ずご確認ください。

#### ●リモコンで運転する場合

図中①, ②は以下の説明文①, ②と対応していますのでご確認ください。



※アドレスの設定は各ユニットの制御箱に収納されている基板上の設定スイッチにて行います。 (詳細は「4.4.アドレスの設定」をご覧ください。) ※ [\_\_\_\_]で囲まれた全ユニットを一括制御します。

#### ①リモコンからの配線

- ・必ず「親機の設定」と「リモコン給電の設定」の両方を行ったユニットの A, B(リモコン用端子) へ 接続します。(極性はありません。)
- ・リモコンは、「親機の設定」と「リモコン給電の設定」の両方を行ったユニットからのみ, 給電を受け動作します。 「親機の設定」と「リモコン給電の設定」の両方を行ったユニット以外にリモコンを接続した場合、 動作しません。

### ②複数台システム制御(複数台制御)を行う場合の配線

- ・各ユニットの M1,M2(M-NET 端子台)間を M-NET 伝送線にて渡り配線を行います。
- ・チラー用リモコンは、最大16台までのユニットを制御可能です。 ※伝送線の配線の種類と総延長(①、②について)

·線径

「①リモコンからの配線」の場合

- 0.3~1.25mm<sup>2</sup>の2芯ケーブルを現地にて調達してください。
   (作業上、0.75mm<sup>2</sup>までを推奨します。)
- 「②複数台システム制御(複数台制御)を行う場合の配線」の場合 1.25mm<sup>2</sup>以上の2芯ケーブルを現地にて調達してください。

・線種

- 「①リモコンからの配線」の場合
- VCTF、VCTFK、CVV、CVS、VVR、VVF、VCTを推奨します。 「②複数台システム制御(複数台制御)を行う場合の配線」の場合 CVVS、CPEVS、シールド線を推奨します。

・リモコン/ユニット間配線の総延長

①リモコン配線 : 最大250m②M-NET 配線 : 最大500m

### <配線分離に関するご注意>

機器の運転に支障のないように,リモコン線や各通信線は現地にて動力線などからの外来ノイズを受けにくい 状態で,配線施工してください。 そのため,現地側での配線施工に際しては,次の点もご確認ください。

- ユニットの主回路線(AC200V, AC400V等)や制御線(AC200V, AC100V等), あるいはインバーターや ファンコントローラーの二次側線等の強電線と束ねて, あるいは平行に配線しないでください。 (やむを得ず, これらの強電線と並行配線となる場合, 40cm 以上離してください。)
- ② 強電線と交差させる場合は、直交させるようにし、また互いの線はできるだけ離してください。
   注意: リモコンーチリングユニット間、チリングユニット間通信ができなくなり、
   チリングユニットの制御ができなくなり故障の原因となることがあります。

③通信線を架空配線にて敷設しないでください。

(このような場合は、電線管に収納して埋設する等の方法にて敷設ください。)

# 2. リモコン設置上のお願い

①リモコン設置スペースを下図のように確保してください。



- ② リモコンの施工時には,前もって「リモコンの据付工事説明書」, ならびに「リモコンの取扱説明書」の内容をご確認ください。
- ③ リモコンのケーブルは、ユニット制御箱内の端子 A, B 以外には接続しないでください。
- ④ リモコンの操作は責任者を定め、みだりに操作が行われないようにしてください。

**注意**:落雷とその伝播により、ユニットに内蔵されている電子基板を焼損し、破壊、発火、 火災の原因になることがあります。

# 3. 運転操作部

3.1 基板操作部

■制御箱内 操作部(盤面スイッチ)



## ■操作部(盤面スイッチ)の機能

①ファンインターロックテストスイッチ	ファンインターロックテストを行なう場合に押します。 (圧縮機が直ちに停止すること。)
②常時/メグ耐圧テスト 緊急停止スイッチ	主電源を遮断する場合に使用します。 (主回路の絶縁抵抗が 10MΩ以上あること)
③遠方/手元切換スイッチ	遠方運転と手元運転を切替えます。
④手元運転入/切スイッチ	手元運転を行なう場合に使用します。
⑤異常表示灯(橙)	運転中に異常が発生すると点灯します。
⑥運転表示灯(赤)	入/切スイッチを「入」にすると点灯します。(異常時は消灯)
⑦電源表示灯(白)	電源を投入すると点灯します。
⑧LED表示器	設定値、モニタ値を表示します。
⑨No.1ディップスイッチ(SW01)	設定変更に使用します。
⑩No.2ディップスイッチ(SW02)	設定変更に使用します。
⑪No.3ディップスイッチ(SW03)	設定変更に使用します。
⑫手元降雪・常時切換スイッチ(SW04)	手元降雪/常時運転の切換に使用します。
⑬手元冷暖切換スイッチ(SW05)	手元冷房運転/暖房運転のモード切換に使用します。
⑭プッシュスイッチ ↑(SW06)	設定値のコードNo.、モニタ値のコードNo.変更および 設定値の変更に使用します。
⑮プッシュスイッチ ↓(SW07)	設定値のコードNo.、モニタ値のコードNo.変更および 設定値の変更に使用します。
⑯プッシュスイッチ Enter (SW08)	設定値の決定、モニタ値の決定に使用します。
①ロータリースイッチ(SW09)	設定値の変更に使用します。

## 3.2 基板上のディップスイッチ設定確認

基板に電源を投入する前に、システムに合わせて全ユニットを同じ状態に設定してください。 注意. ユニットで設定が異なる場合は、複数台のユニットをリモコンで複数台制御しないで下さい。 正常な運転動作をしないことがあります。CA, CAH混在でのリモコン接続はしないでください。

	デ	イッフプスイッチ選択	ON	OFF	標準仕様時の設定(参考)	
	1	CA/CAH切換え	CA	CAH		
	2	F/FⅡ切換え	F	FΠ		
	3	機種設定①			機種による(工場設定) ※操作禁止	
	4	機種設定②	注1参照	願います		
No.1 DIPスイッチ	5	機種設定③				
(SW01)	6	-	-	-		
	7	温調制御精度切替	高精度	標準	OFF	
	8	目標温度4-20mA入力	有り	無し	OFF	
	9	停電自動復帰有り無し	有り	無し	OFF	
	10	遠方異常リセット有り無し	有り	無し	OFF	
	두	、 (いつ) フ (い) チンマ (切)	ON	OFF	「海淮井送時の訳字(会表)	
	/	クタントーンには、	「海動ではない」	「「「「」」」である「「」」」	保毕任惊时の政定(参考)	
	1	フトロリーて時小シノ圧動連転	定動ではない	) (単) (単)	OFF	
	2		有り	無し	OFF	
	3	7.民间停止	短前停止	連転可能	UFF CALON(工相訊字)》提佐林山	
	4	入後除霜40分制限有り無し	有り	無し	CALLOEE(工想認定)※操作禁止	
No.2 DIPスイッチ	5	時毎チード	時頃チード	<b>涌</b>	OFF	
(SW02)	6	高圧カットテストスイッチ	高圧かいテスト	通常	OFF	
	7	低圧カットテスト有り無し	有り	<u>通</u> 前 筆〕	OFF	
	8	ポンプダウン/常時切替	ポンプダウン	常時	OFF	
	9	リモコン電源供給有無	有り	無し	OFF	
	10	-	-	_	OFF	
	デ	ィップスイッチ選択	ON	OFF	標準仕様時の設定(参考)	
	1	遠方指令入力元切替え①			OFF	
	2	遠方指令入力元切替え②	注2参照	願います	OFF	
	3	遠方指令入力元切替え③			OFF	
	4	—	-	_	OFF(工場設定)	
No 3 DIPT INF	5	—	-	_	※操作禁止	
(SW03)	6	_	_	_	OFF(工場設定) ※操作禁止 ※1	
	7	S/I回路有り無し	有り	無し		
	8	フロースイッチ有り無し	有り	無し	OFF(工場設正) ※操作禁止	
	9	電流制限制御有り無し	有り	無し		
	10	ブライン仕様	有り	無し	OFF(工場設定) ※操作禁止 ※1	

注1)機種設定一覧(SW01のNo.3~5)

	1/1-1/-1/-	<u> </u>							
No.	機種	P1180	P1500	P1800	P2360	P3000	P3550	P4750	P5300
3	機種設定①	OFF	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF	ON
4	機種設定②	OFF	OFF	ON	ON	OFF	OFF	ON	ON
5	機種設定③	OFF	OFF	OFF	OFF	ON	ON	ON	ON

注2)遠方選択時入力元設定一覧(SW03のNo.1~3)

No	遠方選択時	遠方選択時	リモ	モコン	
INO.	入力元設定	標準入力	同時、1対1	簡易複数台	
1	遠方指令入力元切替え①	OFF	OFF	ON	
2	遠方指令入力元切替え②	OFF	ON	ON	
3	遠方指令入力元切替え③	OFF	OFF	ON	

※遠方選択時入力元設定は、『遠方/手元』スイッチを「遠方」に設定した時のみ有効となります。

注意

## ※1:工場設定用のスイッチについては、絶対に設定状態を変更しないで下さい。

※2:No.2ディップスイッチNo.5(時短モード)『ON:時短モード』は、テスト運転および保護装置作動テストの時のみ使用下さい。

その他の運転の場合は、必ず『OFF:通常モート』でご使用下さい。 (時短モートのままで使用した場合、異常停止する恐れがあります) ※1 FB形・FⅡB形の場合ON

# 4. 複数台制御システム立上げ手順

## 4.1 リモコンへの電源供給(給電コネクタの設定)

【アドレス・親機・運転台数設定】 項目 上限值 下記手順で給電コネクタを設定してください。 下限值 刻み 初期値 備考 アドレス設定 1,2,3…の順に設定する 50 2 親機設定 0 1 0 1:親機, 0:子機 ユニット台数が4台の ユニット 3 16 1 1 1 START 運転台数設定 場合は「4」と設定する 注意:運転中の設定変更はできません。 遠方/手元切替スイッチを「手元」にする。 電源遮断時の操作基板の 手元運転入/切スイッチを「切」にする。 設定 CN40→CN41 3.2項の基板上のディップスイッチの 設定の確認を行なう。 ユニットの電源投入する。 操作部 基板上のロータリースイッチ『SW09』を『1』に変更して 下記項目を設定してください。 ①「コードNo.1」に「アドレス」を設定してください。 アドレスはリモコンを接続したユニットを『1』に設定してください。 「コードNo.2」で「親機」を設定してください。 リモコンを接続したユニットを『1』とし、親機に設定してください。 ③「コードNo.3」に「リモコンで制御する台数」を設定してください。 基板全体 ユニットが1台の場合は『1』とし、複数台接続している場合は 接続している台数を設定してください。 アドレス設定手順詳細は 4.4項を参照下さい。 親機及び子機の指令入力元を「リモコン複数台制御」に設定してくださ い。 4.5指令入力元設定手順を リモコン複数台制御の設定:基板上のディップスイッチSW03を 参照下さい。 下記の通り設定してください。 SW03-1を「ON」,SW03-2を「ON」,SW03-3を「ON」 親機に設定したユニットは基板上のディップスイッチSW02-9を **CN40 CN40** 「リモコン電源給電有無」を『有り』にセットしてください。 D Π CN41 ユニットの電源を遮断する。 CN41 0000 親機の給電コネクタがCN40(給電有り)に なっていることを確認してください。 給電有 給電無 子機はCN41(給電無し)に差換えてください。 (CN40→CN41へ;右図参照) ※コネクタがCN41にある場合は設定不要です。 ユニットの電源を投入する。 設定完了 注意1. リモコンをご使用になる場合は上記手順で設定を行なってください。操作手順を間違えた 場合は上記手順で再設定してください。操作手順を間違うと、設定項目が初期化され 運転できない場合があります。 注意2. リモコンがつながるユニット(=親機)にアドレス「1」を設定します。 他のユニットには「1」以外のアドレスを「2」「3」「4」の順番に割り付けます。 注意3. リモコンからの"運転"指令は全ユニットのアドレス設定、

基板上スイッチ設定が完了してから行なってください。

## 4.2 親機の場合

リモコンを取付けるユニット(=親機)に対して、下記設定を行います。 親機の設定は全子機の設定が完了した後に行ってください。



<u>注意2</u> .	リモコンがつながるユニット(=親機)にアドレス「1」を設定します。
	他のユニットには「1」以外のアドレスを「2」「3」「4」の順番に割り付けます。
<u>注意3</u> .	リモコンからの"運転"指令は全ユニットのアドレス設定、
	基板上スイッチ設定が完了してから行なってください。

## 4.3 子機の場合

全子機に対して下記設定を行います。



他のユーットには「<u>」以外のノトレス</u>を「2」「3」「4」の順番に割り付 **注意3**. リモコンからの"運転"指令は全ユニットのアドレス設定、 基板上スイッチ設定が完了してから行なってください。

## 4.4 アドレスの設定



以上でアドレスの設定変更が完了しますが、基板の電源を一旦切って(常時/メグ耐圧テスト ・緊急停止スイッチ」をOFFにする)、再投入した時から有効となりますので、 変更結果(アドレス)を確認してください。

## 4.5 指令入力元(リモコン:複数台制御)の設定



以上の操作で指令入力元(リモコン:複数台制御)の設定は完了です。

#### <u>注意</u>

1.指令入力元の切換は、必ず停止中に実施下さい。 (ユニットの『運転入/切』が『切』の場合のみ切換可能です)

# 5. リモコン操作

- 5.1 リモコンの概要
- (1)表示·操作部



- ⑤~⑭のボタンはカバーを開いて操作します。
- 電源投入後約30秒間は、①~③部が点滅しその間は全操作を受け付けません。
- ⑪⑬⑭のボタンは1回押すとそのときの状態を②の表示部に表示します。 各状態を表示中にもう1回ボタンを押すと機能を切替えます。
- ⑪⑬⑭のボタンは押されてから約60秒経過すると、②の表示部はボタンを押す前の状態に戻ります。
- ⑥, ⑦のボタンで設定変更中に、⑧のボタンを押さずに60秒以上放置しておくと、設定モードは解除されます。
   (設定は変更できていないままです)
- ④のボタンを1回押すたびに常時表示させておく内容を次のとおり変更します。

データ表示部の	の内容	設定項目
"F.	_"	①の運転モードのみ表示します。(②部の表示はしない)
"Н.	_"	①, ②の表示をしません。(全て表示しない)
"1.	_"	現在入口水温(ブライン入口温度)を表示します。
"2.	_"	現在出口水温(ブライン出口温度)を表示します。
"3.	_"	外気温度を表示します。
"4.	_"	ユニットの接続台数を表示します。
"5.	_"	現在の制御水温を表示します。

(注) ⑥~⑨のボタンはむやみに押して設定を変更しないでください。 運転やシステムに支障をきたす場合があります。 リモコンの動作状態は、以下のようになります。



①: 電源投入→立上げ中表示

リモコンが復電すると,自動的に立上げ中表示となり,リモコンの動作に必要な内部データを チリングユニットの基板側との通信処理を通してセットします。

②: 立上げ中表示→通常動作モード

上記①の立上げ処理が完了すると、運転モード(C,またはH)が表示されます。 この際、データ表示部には何も表示されませんが、[表示内容(△/▽)]ボタンの操作に よって、リモコンで操作が行われなかった場合の表示内容を選ぶことができます。

3:設定値の変更操作

[設定項目]ボタンを押すと,設定値のコード表示が切換り,設定値を変更するためのモードに入ります。

④:設定値変更モード→通常動作モードへの復帰

次のいずれかによって、設定値変更モードを抜けて、通常動作モードへ戻ります。 (a) [決定]ボタン、[設定項目]、[設定値変更(△/▽)]以外のボタンを押したとき。 (b) 何もボタンを押さない状態が、約1分間以上続いたとき。

[注] 変更された設定値が有効となるのは、[決定]ボタンが押されたときのみです。 それ以外は、変更途中の値はキャンセルされます。

## 【リモコン自己診断モード】

⑤: [設定項目]ボタンが約5秒以上続けて押されたときに、リモコンの自己診断モードに入ります。 ここでは、リモコン内部の通信やデータの状態に関するチェックを行います。

#### [注] 通常のご使用時には,操作しないでください。|

なお,自己診断モードに入った場合,その直前の操作,設定状態で,チリングユニットは動作を 継続します。

⑥: リモコン自己診断モードの解除

上記⑤(または⑥)の自己診断モードに入っている場合に,[設定項目]ボタンが約5秒以上 続けて押されたときに,リモコンの自己診断モードを解除します。 自己診断モードの解除後は,自動的に立上げ中表示となり,電源投入後と同じ状態に なります。 この間,チリングユニットの運転状態は自己診断モードに入る直前の状態を継続します。



- 注意2. リモコンがつながるユニット(=親機)にアドレス「1」を設定します。 他のユニットには「1」以外のアドレスを「2」「3」「4」の順番に割り付けます。
- 注意3. リモコンからの"運転"指令は全ユニットのアドレス設定、 基板上スイッチ設定が完了してから行なってください。

## 5.3 リモコンからの冷暖切替方法



	,

『運転モード』ボタンを押します。

ユニットの運転モードは、下図のように、冷房の場合"C"、暖房の場合"H"で表示されます。



以上の操作で冷暖切替操作は完了です。

## <u>注意</u>

2.冷暖切替操作は、必ず停止中に実施下さい。
 (ユニットの『運転入/切』が『切』の場合のみ切換可能です)

### 5.4 目標温度設定

## (1)ワンタッチ操作による現在の設定値の表示

[設定水温]ボタンを押すと,現在の設定水温を表示します。



設定値変更の△,または▽ボタンを押す毎に、0.1[℃]ずつ値が変化します。 また、△, ▽のボタンを押し続けると、値が早送りされます。

値を決定する場合は、必ず[決定]ボタンを押してください。

目標温度の設定は、下記コードNo.を表示して設定値の確認及び変更を行ってください。

コード No.	リモコンでの項	8	設定値項目内容	設定値記入欄
6	設定水温1[℃]	(冷房時)	遠方通常時冷房目標温度	
		(暖房時)	遠方通常時暖房目標温度	
7	設定水温2[℃]	(冷房時)	遠方蓄熱時冷房目標温度	
		(暖房時)	遠方蓄熱時暖房目標温度	

注意 その他リモコンの設定ボタンで設定可能な項目については次項を参照ください。

## (3)リモコンの「設定項目」ボタンで設定できる項目とコードNo.

コードNo.	リモコンでの項目	設定値項目内容	操作方法
6	設定水温1	冷房又は暖房の目標温度を設定してください。	「設定変更▽/△」
7	設定水温2	蓄熱槽仕様などで目標温度を2パターンで使用する場合に設定 してください。	ホタンを押すと設定 値の表示が変わって 行きます。押し続ける
8	現在時刻	現在時刻を設定してください。また、時刻にずれがある場合 は、現在時刻を設定してください。	とデータが早送りとなります。
9	運転入時刻1(スケジュール)	スケジュール運転を行う場合は、運転開始時刻を設定してください。	「次正」を押すと数回 占減」 設定値が固
0	運転切時刻1(スケジュール)	スケジュール運転を行う場合は、停止時刻を設定してください。	定となります。
А	運転入時刻2(スケジュール)	75ジール運転は 1日に9回の時間世に八月て那字司能です	
b	運転切時刻2(スケジュール)	パクユール運転は、1日に2回の時間帯に力りて設定可能です。	
С	設定水温2開始時刻	蓄熱運転などで、夜/昼の出口水温の設定温度を変更した	
d	設定水温1開始時刻	い場合に設定してください。	
Е	デマンド上限値(%)	デマンド制御でユニットを停止する場合に設定してください。	

設定項目の詳細については、下記コードNo.を表示して設定値の確認及び変更を行ってください。

### 5.5 運転/停止





1.『運転停止』ボタンを押す際は、1秒間連続押し続けて下さい。 ※誤操作防止の為の機能です。

## 6. 異常および異常リセット

6.1 親機(アドレス設定"1")のユニット異常時の動作



(複数台システム制御は停止)

6.2 子機(アドレス設定"1"以外)のユニット異常時の動作



### 6.3 M-NET通信異常時の動作

#### (1)子機側通信異常発生時



1.ユニット停電
 2.伝送線断線(未接続)



2.伝送線断線(未接続)

#### 6.4 異常リセット操作手順

#### (1)異常の表示

#### リモコンでの表示

ユニットに関する異常が発生した際は、アドレス(号機)No.と異常コードを表示します。 異常の表示時には、アドレスNo.、異常コード、運転/停止ボタン部は点滅表示します。



◎表示される異常コードと,それに対応する異常内容

・ユニットに関する異常

→ 6.5 異常コード一覧 の表をご参照ください。

・リモコンの通信に関係する異常

- → 次の内容となります。なお、これらの異常コードが表示された場合は、 お買上の販売店,設備工事店等にご連絡ください。

  - "6831": 受信なし異常 "6832": 同期回復異常 "6833": 通信ハードウェア異常
  - "6834": スタートビット検出異常
- ※ほぼ同時に複数個の異常が発生した場合は、約30秒おきに順次発生した異常コードを 表示していきます。

#### 基板上LED表示器での表示



ユニットに関する異常が発生した際は、当該基板上LED表示器に 異常コードを点灯表示します。

→ 6.5 異常コード一覧 の表をご参照ください。





## START 異常発生 異常が発生したユニットのアドレス、異常内容を確認する ← リモコン表示にて確認後、 当該ユニットの基板上LEDで確認 他のユニットは運転継続します。 L LD1 基板上LED表示器での リモコンでの異常表示例 異常コード表示例 リモコンからの「停止」操作 全ユニットは一旦停止します。 運転/停止 $\bigcirc$ ( 異常の原因を取り除く(復旧作業) 運転"切"の状態 注意. 下記の保護装置が作動した場合は、当該保護のリセットも 行なうことが必要です。 ・圧縮機用過電流継電器(F形・FⅡ形・FB形・FⅡB形共通) ・送風機用過電流継電器 (FB形・FⅡB形のみ) ・高圧開閉器(F形・FⅡ形・FB形・FⅡB形共通) 制御箱正面のユニットの異常ランプ(橙)消灯を確認する 異常解除されていなければ、再度 原因調査・復旧作業を行なってください。 LED表示器(LD1)にて異常コードなしを確認する 見て確認する だけでOKです。 LED表示器は異常発生前 LD1 $\mathcal{O}$ 表示に豆りすす コードNo.表示例 リモコンからの「運転」操作 運転/停止 (点灯)-+ 🛑 $\otimes$ "運転/停止"ボタンを1秒以上押す。 異常状態が解消されていれば、 全ユニット最初(立上げ処理)から 運転を開始します。

L

(3)遠方異常リセット有り設定の場合 (SW01-10:"ON"時)

運転再開

### (4)各異常時のリセット方法

異常が発生した場合、異常発生ユニットおよび異常内容を確認する方法、 また異常リセット方法が下記の通り異なりますので、注意してください。

・異常発生時の確認方法および異常リセット方法

異常内容	発生ユニット	確認方法	異常リセット方法
通信異常発生時	親機 全子機からの応答が 無い状態が10分継続 した場合	①リモコンにアドレスNa,異常コード表示 ②親機基板上LED表示器に 異常コード表示 →全ユニット単独運転モードにて制御	<ul> <li>①遠方/手元切替スイッチを「手元」にセットする</li> <li>②手元運転入/切スイッチを「切」にセットする</li> <li>③異常原因を取り除く</li> <li>④遠方/手元切替スイッチを「遠方」にセットする</li> <li>→再立上げ処理を行い,復帰した</li> <li>子機に一旦停止指令を送信</li> <li>リモコン"運転"にて運転再開</li> </ul>
	子機 親機からの指令が 10分継続してない場合	①リモコンにアドレスNo.,異常コード表示 ②親機基板上LED表示器に 異常コード表示 →当該ユニットは単独運転モード →親機と他の子機は複数台制御継続	<ul> <li>①遠方/手元切替スイッチを「手元」にセットする</li> <li>②手元運転入/切スイッチを「切」にセットする</li> <li>③異常原因を取り除く</li> <li>④遠方/手元切替スイッチを「遠方」にセットする</li> <li>→運転中であれば一旦停止し 複数台モードに復帰する</li> </ul>
ユニット異常発生時 (遠方異常リセット無の場合) SW01-10:OFF	親機	<ul> <li>①リモコンにアドレスNo.,異常コード表示</li> <li>②親機基板上LED表示器に</li> <li>異常コード表示</li> <li>→親機停止</li> <li>→他のユニットは複数台運転継続</li> </ul>	<ul> <li>①遠方/手元切替スイッチを「手元」にセットする</li> <li>②手元運転入/切スイッチを「切」にセットする</li> <li>③異常原因を取り除く</li> <li>④遠方/手元切替スイッチを「遠方」にセットする</li> <li>→再立上げ処理を行い、</li> <li>全子機に一旦停止指令を送信</li> <li>リモコン"運転"にて運転再開</li> </ul>
	子機	<ul> <li>①リモコンにアドレスNa,異常コード表示</li> <li>②当該(子機)基板上LED表示器に 異常コード表示</li> <li>→当該ュニットは異常停止</li> <li>→親機と他の子機は複数台制御継続</li> </ul>	①遠方/手元切替スイッチを「手元」にセットする ②手元運転入/切スイッチを「切」にセットする ③異常原因を取り除く ④遠方/手元切替スイッチを「遠方」にセットする →複数台モードに復帰する
ユニット異常発生時 (遠方異常リセット有の場合) SW01-10:ON	親機	<ul> <li>①リモコンにアドレスN₀,異常コード表示</li> <li>②親機基板上LED表示器に 異常コード表示</li> <li>→親機停止</li> <li>→他のユニットは複数台運転継続</li> </ul>	①リモコンの運転停止ボタンを「停止」にセットする ②異常原因を取り除く ③リモコンの運転停止ボタンを「運転」にセットする →運転再開
	子機	<ul> <li>①リモコンにアドレスNo.,異常コード表示</li> <li>②当該(子機)基板上LED表示器に</li> <li>異常コード表示</li> <li>→当該ユニットは異常停止</li> <li>→親機と他の子機は複数台制御継続</li> </ul>	<ul> <li>①リモコンの運転停止ボタンを「停止」にセットする</li> <li>②異常原因を取り除く</li> <li>③リモコンの運転停止ボタンを「運転」にセットする</li> <li>→運転再開</li> </ul>
代表水温センサ異常 発生時 (親機のみ)	親機	<ul> <li>①リモコンにアドレスNo,異常コード表示</li> <li>②親機基板上LED表示器に 異常コード表示</li> <li>→親機単独運転モードにて運転続行</li> <li>→子機へ親機異常を送信</li> <li>→直前の指令状態/設定にて 全子機、単独運転モード</li> </ul>	<ul> <li>①遠方/手元切替スイッチを「手元」にセットする</li> <li>②手元運転入/切スイッチを「切」にセットする</li> <li>③異常原因を取り除く</li> <li>④遠方/手元切替スイッチを「遠方」にセットする</li> <li>→再立上げ処理を行い、</li> <li>全子機に一旦停止指令を送信</li> <li>リモコン"運転"にて運転再開</li> <li>→全子機複数台モードに復帰する</li> </ul>
停電、瞬停復帰時 (停電自動復帰無の場合) SW01-9:OFF (親機の設定による) ※停電自動復帰有りの 場合、複数台立上げ 処理にて運転再開	親機	<ul> <li>①リモコンにアドレスNo.,異常コード表示</li> <li>②親機基板上LED表示器に</li> <li>異常コード表示</li> <li>→親機停止、親機異常を子機へ送信</li> <li>→全ュニット単独運転モードにて制御</li> </ul>	<ul> <li>①遠方/手元切替スイッチを「手元」にセットする</li> <li>②手元運転入/切スイッチを「切」にセットする</li> <li>③異常原因を取り除く</li> <li>④遠方/手元切替スイッチを「遠方」にセットする</li> <li>→再立上げ処理を行い,復帰した</li> <li>子機に一旦停止指令を送信</li> <li>リモコン"運転"にて運転再開</li> </ul>
	子機	→全ユニット単独モードにて運転	→親機の再立上げ処理に従って 複数台モードに復帰する

#### 6.5 異常コード一覧表 【F形・FB形異常表示コード】

64

65

66

BUS BUSYエラー

ACK無しエラー

応答無しエラー

項目 No	名称		データ表示部での 表示コード
1	古口		
1	向 <u></u> 低工		
2	14月 「空かり」日式 7月 座		
3	圧縮機吐田刀へ偏度 「始機光的退産		AC 0 1
4	上 補 懱 苍 禄 偏 皮		AC 4 1
5	上稲機適電流		AC 5 1
6	<u>比稲機</u> 迎相		A 4 7 1
7			APSI
8	圧縮機吐出スーハービートト限		ASLI
9	上稲磯吐出スーハービート上限		ASHI
10	上稲機モータ至後SH下限		AHLI
11		• / •	ALLI
12	ファンゴン 適電 流 異常 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	×1	F111, F112, F113, F211, F212, F213, F311, F312, F313, F411, F412, F413
13	シアンコンコントローフ加熱	×1	F121, F122, F123, F221, F222, F223, F321, F322, F323, F421, F422, F423
14	ファンコンモータ加熱	×1	F131, F132, F133, F231, F232, F233, F331, F332, F333, F431, F432, F433
15	ファンコンホールセンサ異常 ジ	×1	F141, F142, F143, F241, F242, F243, F341, F342, F343, F441, F442, F443
16	ファンコン速度異常	×1	F1b1, F1b2, F1b3, F2b1, F2b2, F2b3, F3b1, F3b2, F3b3, F4b1, F4b2, F4b3
17	ノアンコン週間上	×1	F 1 5 0, F 2 5 0, F 3 5 0, F 4 5 0
18	ファンコン低電圧	×1	F 1 6 0, F 2 6 0, F 3 6 0, F 4 6 0
19	ファンコン電源欠相	×1	F 1 7 0, F 2 7 0, F 3 7 0, F 4 7 0
20	ファンコン通信異常	×1	F 1 8 0, F 2 8 0, F 3 8 0, F 4 8 0
21	ファンコンVer不一致	×1	F 1 9 0, F 2 9 0, F 3 9 0, F 4 9 0
22	ファンコンCPU異常(メモリ異常含む)	<b>※</b> 1	F 1 A 0, F 2 A 0, F 3 A 0, F 4 A 0
23	ファンインターロック		AFA1
24	凍結予防停止	<b>X</b> 2	A 2 6 1 、A 2 6 0
25	冷水(ブライン)凍結		APC1
26	温水過熱[冷温水(ブライン)ポンプ運転指令禁止]		A-PH
27	停電異常		A-Po
28	フロースイッチ		A-F 1
29	インバータ異常		AFC1
30	外気上限		A o AH
31	外気下限		A o A L
32	断水検知(1)		AAS1
33	断水検知(2)		A b S 1
34	高圧		5201
35	低圧		5203
36	圧縮機運転電流		5 3 0 1
37	膨張弁前冷媒温度1		5 1 0 1
38	吸込ガス温度		5102
39	プレート熱交内部水温(ブライン温度)1		5103
40	圧縮機モータ室温度		5 1 0 5
41	冷温水 (ブライン)入口温度		5106
42	外気温度		5107
43	冷温水 (ブライン)出口温度		5108
44	膨張弁前冷媒温度2		5109
45	エコノマイザ出口冷媒温度1		5110
46	圧縮機吐出温度		5 1 1 3
47	プレート熱交内部水温(ブライン温度)2		5114
48	エコノマイザ出口冷媒温度2		5115
49	代表(遠方)水温(ブライン温度)		5116
	M-NET関連異常		
61	通信異常(10分以上通信エラー継続時) 🔅	₩3	6 5 0 0
62	アドレス2重	₩3	6 6 0 0
63	H/Wエラー	₩3	$6\ 6\ 0\ 2$

※1 No.12~16は、ファンモータ毎、No.17~22はファン基板毎に異常コードを表示します。 No.12~16は、左から2桁目の数字(F213の場合「2」)が基板、左から4桁目の数字(F213の場合「3」)がモータを示します。 No.17~22は、左から2桁目の数字(F150の場合「1」)が基板を示します。

6603

 $6\ 6\ 0\ 7$ 

6608

※2 No.24は異常発生時A261を表示します。但し、サービスマンによる異常リセットが必要な場合A260を表示します。

※3 M-NET関連異常(No.61~66)は発生状態の確認が可能なように表示を行ないます。 当該状態の発生によるユニットの制御は行ないません。 したがって、運転は継続し、LED表示器およびリモコンへの異常コード表示のみ行います。

₩3

₩3

₩3

項目		データ表示部での
No.	名	表示コード
1	高圧	AHP 1
2	低圧	ALP1
3	圧縮機吐出ガス温度	AC 6 1
4	圧縮機巻線温度	AC 4 1
5	圧縮機過電流	A C 5 1
6	圧縮機逆相	A 4 7 1
7	ポテンショメータ	APS1
8	圧縮機吐出スーパーヒート下限	ASL1
9	圧縮機吐出スーパーヒート上限	A S H 1
10	圧縮機モータ室後SH下限	AHL 1
11	ガス漏れ	ALL1
12	送風機過電流	AF 5 1
13	ファンインターロック	AFA1
14	凍結予防停止 ※1	A 2 6 1 、A 2 6 0
15	冷水 (ブライン) 凍結	APC1
16	温水過熱[冷温水(ブライン)ポンプ運転指令禁止]	A - P H
17	停電異常	A-P o
18	フロースイッチ	A-F 1
19	インバータ異常	AFC1
20	外気上限	A o A H
21	外気下限	A o A L
22	断水検知①	AAS 1
23	断水検知②	A b S 1
24	高圧	$5\ 2\ 0\ 1$
25	低圧	5203
26	圧縮機運転電流	$5 \ 3 \ 0 \ 1$
27	膨張弁前冷媒温度1	5 1 0 1
28	吸込ガス温度	5 1 0 2
29	プレート熱交内部水温1	5 1 0 3
30	圧縮機モータ室温度	5 1 0 5
31	冷温水(ブライン)入口温度	5 1 0 6
32	外気温度	5 1 0 7
33	冷温水(ブライン)出口温度	5 1 0 8
34	膨張弁前冷媒温度2	5 1 0 9
35	エコノマイザ出口冷媒温度1	5 1 1 0
36	圧縮機吐出温度	5 1 1 3
37	プレート熱交内部水温2	5 1 1 4
38	エコノマイザ出口冷媒温度2	5 1 1 5
39	代表(遠方)水温(ブライン温度)	5116
M-NET関連異常		
61	通信異常(10分以上通信エラー継続時) ※2	6 5 0 0
62	アドレス2重 ※2	6 6 0 0
63	H/Wエラー ※2	6 6 0 2
64	BUS BUSYエラー ※2	6 6 0 3

#### 【FⅡ形・FⅡB形異常表示コード】

65

66

ACK無しエラー

応答無しエラー

※1 No.14は異常発生時A261を表示します。ただし、サービスマンによる異常リセットが必要な場合A260を表示します。

 $6\ 6\ 0\ 7$ 

6608

※2 M-NET関連異常(No.61~66)は発生状態の確認が可能なように表示を行ないます。 当該状態の発生によるユニットの制御は行ないません。

₩2

₩2

したがって、運転は継続し、LED表示器およびリモコンへの異常コード表示のみ行います。

## 空冷チラー CA/CAH-P1180F~P5300F形 空冷ヒートポンプチラー CA/CAH-P1180F I ~ P4750F I 形 用 リモコンRP-16CB 複数台制御システム取扱説明書



Y 暮らしと設備の総合情報サイト WINK 三菱電機 空調冷熱・換気・照明設備の情報サービス http://www .MitsubishiElectric.co.jp/wink/

この印刷物は、2015年1月の発行です。なお、お断りなしに仕様を変更することがありますのでご了承ください。 2015年1月作成